

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみ

2025年度 第2回 運営推進会議 報告書

日時:2025年7月16日(水) 14:35 ~ 15:05

会場:あっとホームひかわ 食堂

参加者: 出雲市健康福祉部高齢者福祉課
斐川高齢者あんしん支援センター
住民代表
利用者
斐川生協病院院長
介護事業部部長
介護事業部副部長
看護小規模多機能事業所みなみ所長
介護事務

司会: 書記:

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

Q,今疼痛はありますか？

A,今はないそうです。頓用もお持ちですが、使用していません。みなみを利用されてから穏やかに過ごされています。

Q,食事にあんかけを使用することで違いがありますか？

A,みなみには歯科衛生士が2名常駐しております。歯科衛生士の提案であんかけを使用することになりました。入院中は全量摂取が困難だと伺っていましたが、使用後より残渣もほとんどなくなり、今では毎食全量摂取されています。看護職員では気づけない視点から発信してくれ、とても助けられています。

Q,食事の際にベッドから車椅子に変更することが出来るようになったということでしたが、これも他職種との情報共有からですか？

A,こちらはリハビリ職員の提案によるものでした。ポジショニングを確認し、車椅子に離床することができました。

Q,地域の方への訪問は現在どのくらいありますか？

A,3事業所で6件くらいです。一番遠い所では、出東になります。

Q,多職種の関りの中で、ポジショニング等の提案は担会ではなく、日々のコミュニケーションの中からも多いですか？

A,そうですね。普段の何気ない会話から試してみようかという提案や介護ソフトを利用し、申し送りからその日不在の職員も経過を把握することで、利用者様の状況が把握できる事は大きいと思います。

Q,病院と介護施設が併設されていることが何か影響していますか？

A,病院自体は療養型病棟です。急性期病院から療養病院に転院されます。こちらに転院された時は、看取り期であった患者様が回復されるケースもあり、その時は本人、家族の思いに寄り添い、在宅サービスへつなげるケースもあります。

Q,実際みなみを利用されてどうですか。

A,申し分ありません。私は100歳近いですが、好きな食べ物も食べられます。定年まで学校給食で勤務しており、食事のことは誰にも負けないくらいの気持ちです。みなみでは、料理をしたり、絵を描いたり、塗り絵をしたり、外に出かけたりして楽しく過ごしております。

IV. その他

・歯科衛生士と言語聴覚士が勤務するようになり、発語や表情がよくなり、本人様はもちろんですが、家族様もとても喜んでいらっしゃいます。

・要介護5の利用者様が椅子に座って、ご自分で食事出来ることは幸せなことだと思います。

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトれもん

2025年度 第2回 運営推進会議 報告書

日時:2025年7月16日(水) 15:05 ～ 15:15

会場:あっとホームひかわ食堂

参加者:出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

斐川生協病院院長

介護事業部部長

介護事業部副部長

看護小規模多機能事業所みなみ所長

介護事務

司会: 書記:

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

Q,糖尿病があり、制限されるではなく、好きな食べ物を最期まで食べられていたのですね。

A,主治医に確認しながら好きな物を最期まで食べられていました。

Q,シニアコートから入院され、シニアコートへ戻られなかったのは医療的な面でしょうか？

A,ご本人の状態からシニアコートへ戻ることが難しいという話からのご紹介でした。医療的ケアも含め、看護小規模での利用になりました。

Q,病院からの相談が一番多いですか？

A,以前は、病院からの紹介が多かったですが、近年はケアマネージャーさんからの紹介が増えています。泊まりの利用を検討される方も多くなりました。

IV. その他

・事例の方は、主治医として診ていた利用者様です。元々看取りで、糖尿病もありました。病院食が苦手な方で、どちらかというと血糖値が上がる食べ物を好まれていました。看護小規模を利用されてからは、食事量が増え、家族様が持参されたバナナやお饅頭は最期まで食べていらっしやいました。

・事例の方は、最期まで好きな物を食べさせてもらえて、幸せに亡くなられたと思います。

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトとまと

2025年度 第2回 運営推進会議 報告書

日時:2025年7月16日(水) 15:15 ～ 15:40

会場:あつとホームひかわ食堂

参加者:出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

斐川生協病院院長

介護事業部部長

介護事業部副部長

看護小規模多機能事業所みなみサテライトとまと所長

介護事務

司会: 書記:

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

Q,進行性の難病ということで、これから大変なこともあるかと思います。本人様や家族様の受け入れや今後のことも悩ましいところですね。

A,胃ろうの話も出ていますが、本人様や家族様の思いはまだ受け入れられないようです。看多機への利用にも時間がかかりました。少しずつ思いを聞いて話し合っていこうと思います。

Q,今まではこういう進行性の利用者様はいらっしゃいましたか？

A,今回初めてです。

Q,事例の方の状態でも要介護2ですか？

A,認定を受けた当時は、要介護2だったと思いますが、今は病状も進行しており、要介護度とすると変わってきていると思います。

Q,どういう経緯で看護小規模を利用されることになりましたか？入院は出来ないですか？

A,肺炎等の治療では、入院になることが多いと思います。進行性の病気ですと入院ではなく、現在の状況でどういったサービスを利用して過ごしていくかになります。本人様も家族様も受け入れられるまでに時間も必要になりますし、看護小規模を利用するまでにも時間がかかりました。今後の事も含め本人様家族様の思いを聞きながら、サービスを検討していく必要があります。

IV. その他

・今後、人工呼吸器を使用になった時など家族様が休みたいときにレスパイト入院できる病院が少ないという話を聞きます。そういった医療的な方に対して、看護小規模を利用できることが分かりました。

・娘様の年齢が若いので、娘様のケアも必要になると思います。以前は、保健所さんが動かれていたように思いますが、こういう場合も情報共有しながらチームで支えていきたいですね。

・娘様の思いをお聞きし、私たちも苦しくなりました。進学を諦められたということもあり、今後も娘様の思いを聞いて介護負担軽減や心の支えになっていけたらと思います。

・家族的には病院に入院してくれる方が、助かるときもあります。でも一番は本人の気持ちですね。

・この方が安心して暮らしていけるように地域で支えていけたらと思います。